

4 実現化施策

1章

2章

3章

4章

5章

実現化施策

方針 1-1 定時性・速達性の確保、災害に強い道路ネットワークの形成

快適な移動

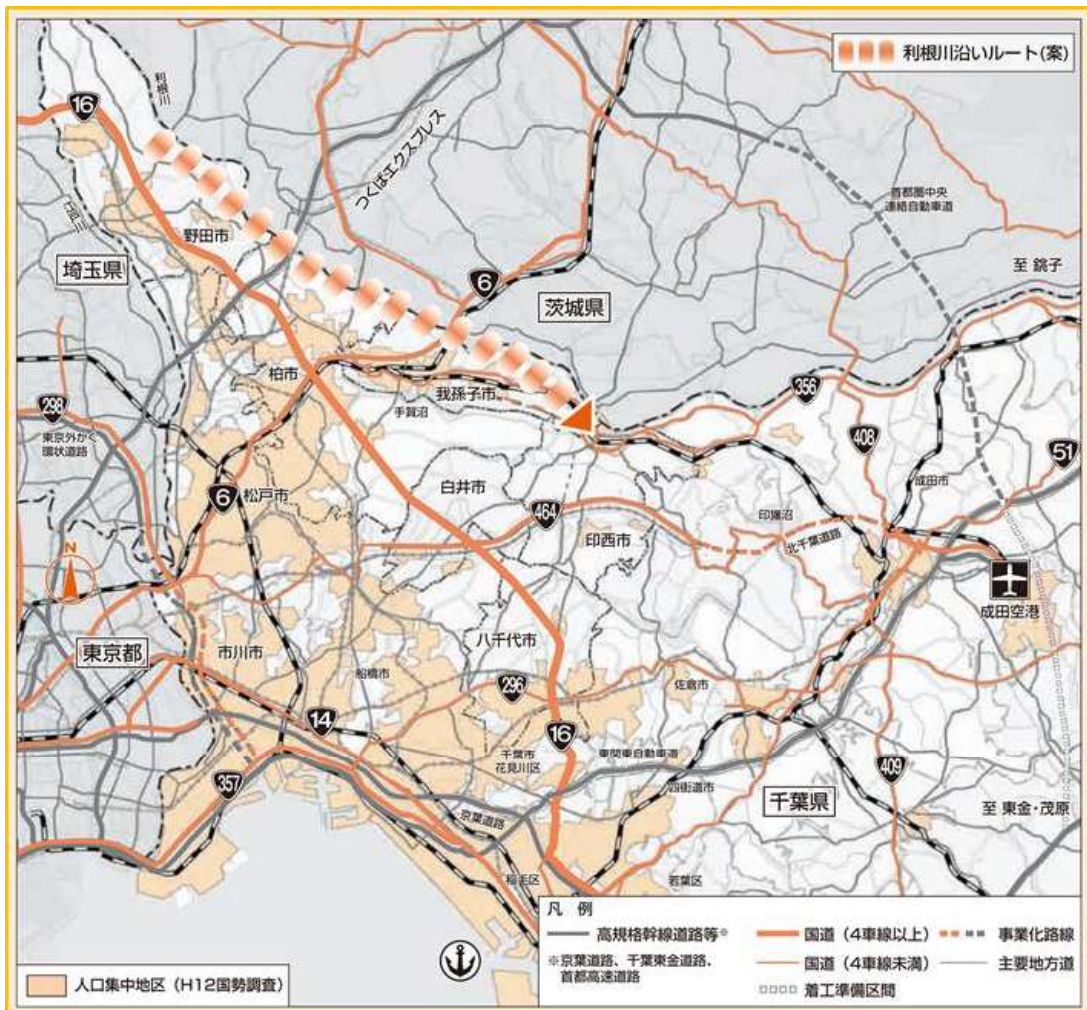
(1) 一般国道6号16号の渋滞緩和による交通の円滑化

①千葉北西連絡道路の整備

施策期間：長期

- 千葉北西連絡道路の整備により、国道16号など市内の主要な幹線道路の交通の円滑化による公共交通の定時制、速達性の確保や災害時に通行可能な道路が増えることで、災害に強い交通網の形成などの効果が期待されます。

■国道16号等千葉県北西部の交通の円滑化を目指した計画のたたき台（平成19年5月）



出典：千葉北西連絡道路検討会資料より

②都市軸道路の整備

施策期間：長期

- 都市軸道路は、T×沿線地域（つくば～三郷）を結ぶ広域幹線道路として整備しています。
- 特に利根川をまたぐ道路を確保できることから、緊急時の輸送路としての機能や防災機能の向上が期待できます。
- 国道6号のバイパス機能としての役割も担うものです。

■都市軸道路の全体計画



出典：柏市ホームページ(報道資料 H29.2)を基に作成

③ライブカメラの増設

施策期間：短期

- ライブカメラは現在1台（国道16号柏隧道千葉方面出口付近 野田方面向き）設置されており、柏市のホームページ内でもアクセス数が多く（年間40万回、第2位）、需要が高くなっています。今後も若柴交差点や南柏付近など渋滞が見られる幹線道路への設置を検討していきます。
- ライブカメラの増設により渋滞情報がさらに広域で把握でき、迂回や交通抑制につながることを期待されます。

■ライブカメラの映像



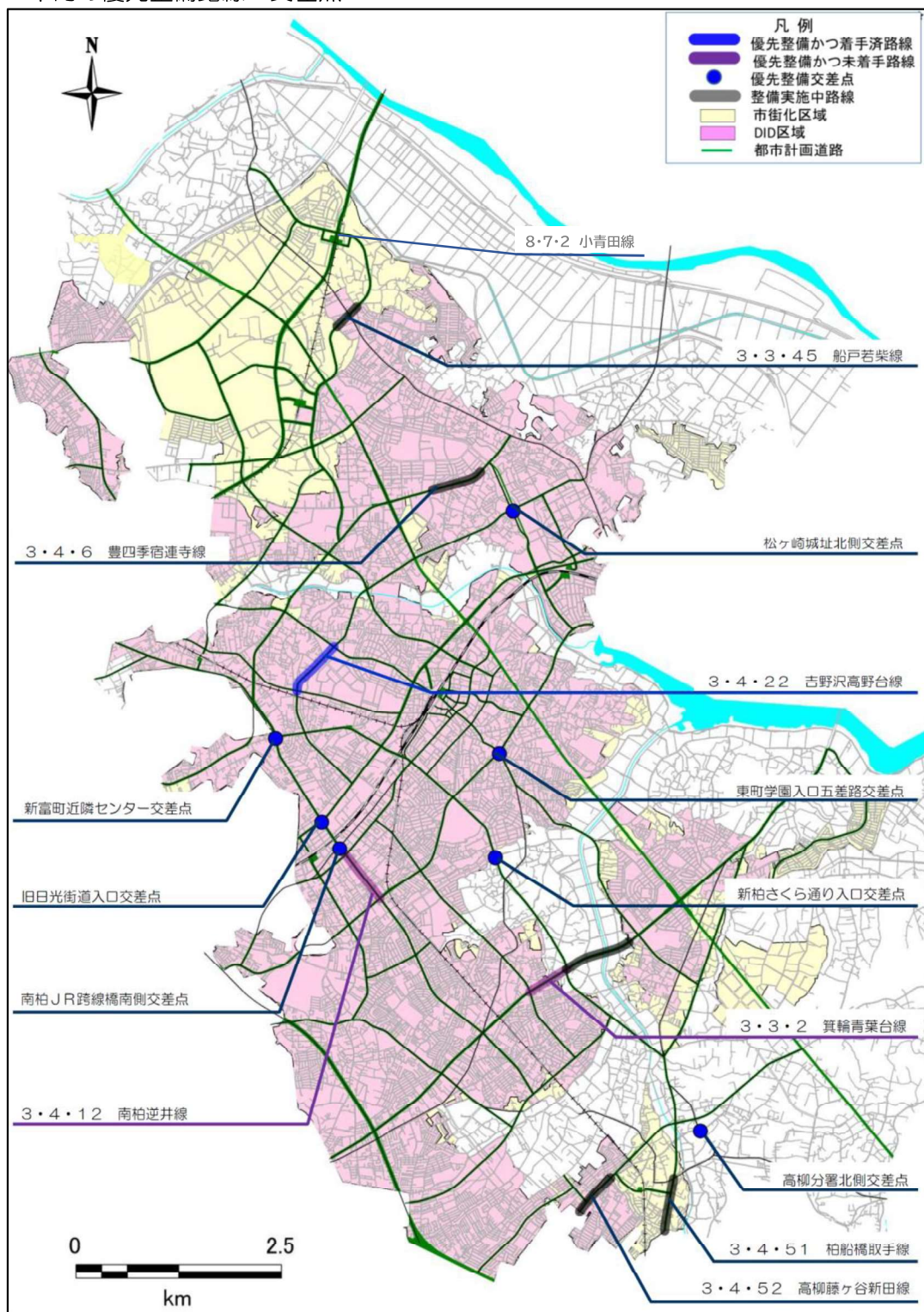
■ライブカメラの設置位置



出典：柏市ホームページ

- 市内交通を担う幹線道路不足の課題を受けて、都市構造や社会情勢の変化を踏まえながら、柏市都市計画道路等整備プログラムの中での優先路線の整備を推進します。また、都市計画道路全体の計画見直しを検討していきます。

■市内の優先整備路線・交差点



出典：第3次柏市都市計画道路等整備プログラム(H29)を基に作成

快適な移動

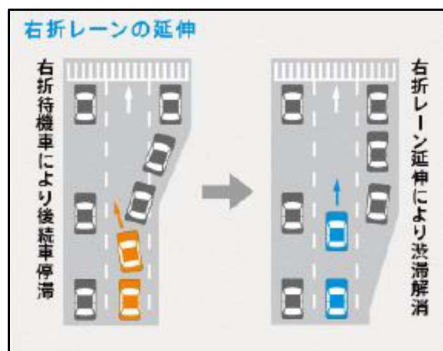
(3) 交差点改良などによる交通の円滑化

施策期間：長期

- 交通渋滞が激しく、ボトルネックとなっている交差点については、自動車交通の円滑化や、路線バスの定時性・速達性向上につながる交差点改良を計画的に整備していきます。

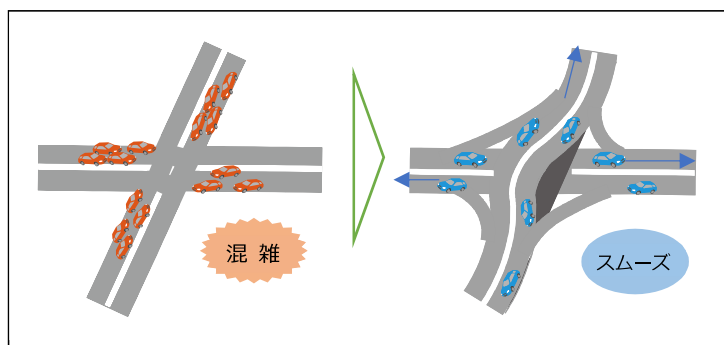
①右折（左折）レーンの設置や延伸

■右折レーンの設置や延伸



②立体交差

■主要交差点の立体交差のイメージ



快適な移動

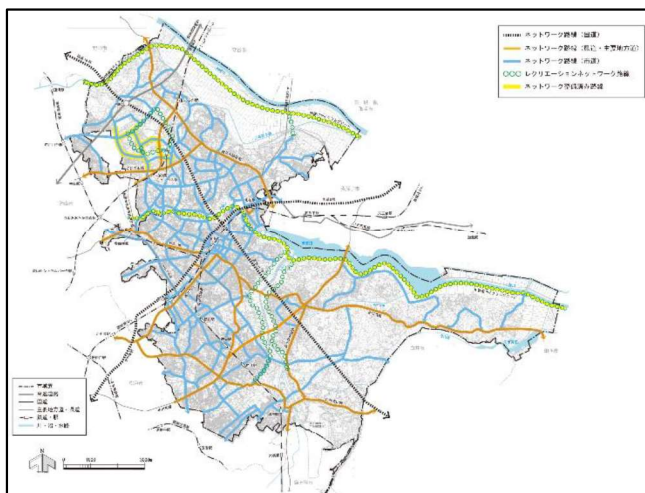
(4) 自転車通行環境の整備

①ネットワーク路線の整備

施策期間：長期

- 駐輪場など自転車利用者が多い施設を中心に、自転車と歩行者が安全に通行できるよう自転車の通行空間の整備を進めます。交通量（歩行者・自転車・自動車など）や道路構造を踏まえ、優先整備路線の検討及びネットワーク路線の見直しを行っていきます。

■自転車ネットワーク路線



■自転車走行空間の例（矢羽根）



出典：柏市自転車総合計画（H29年）

②駐輪場の再編

施策期間：長期

- 運営管理の効率化やサービス向上のため、個々の駐輪場の利用ニーズや建物の更新時期にあわせた駐輪場の再編を実施していきます。

■駐輪場マップ（柏駅周辺）



■市営駐輪場の利用状況



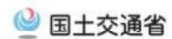
③自転車活用推進計画の策定

施策期間：短期

- 自転車の安全で快適な利用環境整備に向け、国の方針・手引きを踏まえながら、地域の実情に応じた自転車活用推進計画を策定していきます。

■自転車活用推進計画

地方版自転車活用推進計画策定の手引き(案)の概要



手引きの目的

- 国の推進計画を踏まえ、地方版推進計画の策定に向けて検討する際に参考となる情報を整理したもの。
- 本手引きの活用により、地域の実情に応じた地方版推進計画の策定が進むことを期待。

手引きの記載内容(概要)

- 地方版自転車活用推進計画の策定に向けて、標準的な記載内容や策定手法等を記載。

位置づけ・策定主体

- 各地方公共団体における自転車に関する政策に関する最上位の計画として位置付け
- 策定主体は、都道府県及び市区町村

検討体制、策定手順

- 施策実効性担保・合意形成を図るべく、計画に関連する関係者による協議会を設置し、検討

【協議会の構成者(例)】

地方公共団体、各種交通事業者、道路管理者、都道府県警察有識者、想定される施策関係団体、まちづくり活動団体、教育委員会、一般市民等

計画の構成

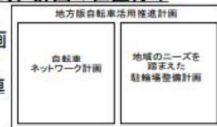
- (1) 計画の目的・区域・期間、計画の位置付け
- (2) 現状及び課題、計画の目標
- (3) 実施すべき施策、実施スケジュール
- (4) 計画の推進体制、計画のフォローアップ及び見直し方法

計画の標準的な記載内容と策定手法

【標準的な記載内容】

(1) 計画の目的・区域・期間、計画の位置付け

- ①国の推進計画との関連
- ②自転車に関する既存計画との関連
- ③その他関連計画との関連



(2) 現状及び課題、計画の目標

- ①現状分析及び課題整理
- ②計画目標の設定方法

(3) 実施すべき施策、実施スケジュール

- ①実施すべき施策の検討方法
- ②実施スケジュール

(4) 計画の推進体制、計画のフォローアップ及び見直し方法

- ①計画の推進体制
- ②計画のフォローアップ及び見直し方法

42

出典：国土交通省

方針 1-2 都市や地域間の移動を円滑にする公共交通ネットワーク

快適な
移動

(1) 広域的な輸送力の強化（公共交通）

施策期間：長期

- 広域輸送手段の拠点（新幹線駅、リニア中央新幹線乗車駅、空港など）へのアクセス強化を目指します。
 - 近隣主要都市間の交通の強化
 - つくばエクスプレスの東京駅への延伸
 - 上野東京ラインの増便（柏⇄東京・品川）
 - 羽田空港アクセス線による羽田空港へのアクセス強化
 - 羽田・成田空港への高速バスの利用促進および増便

■輸送力強化を目指す路線



1章

2章

3章

4章

5章

実現化施策

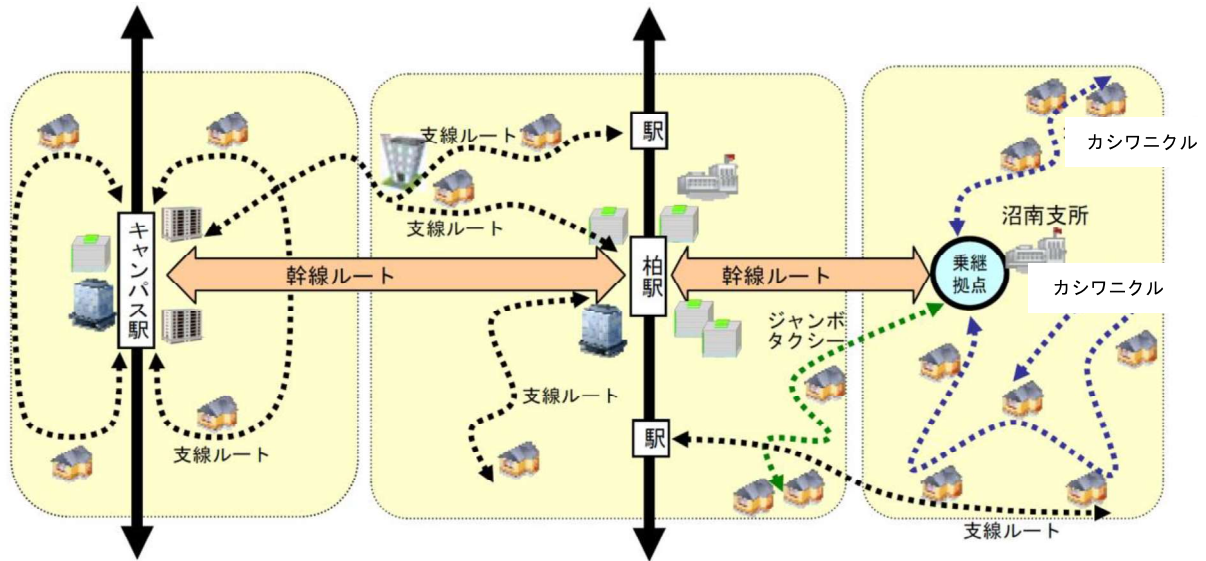
快適な移動

(2) 地域状況に応じたバス路線の再構築

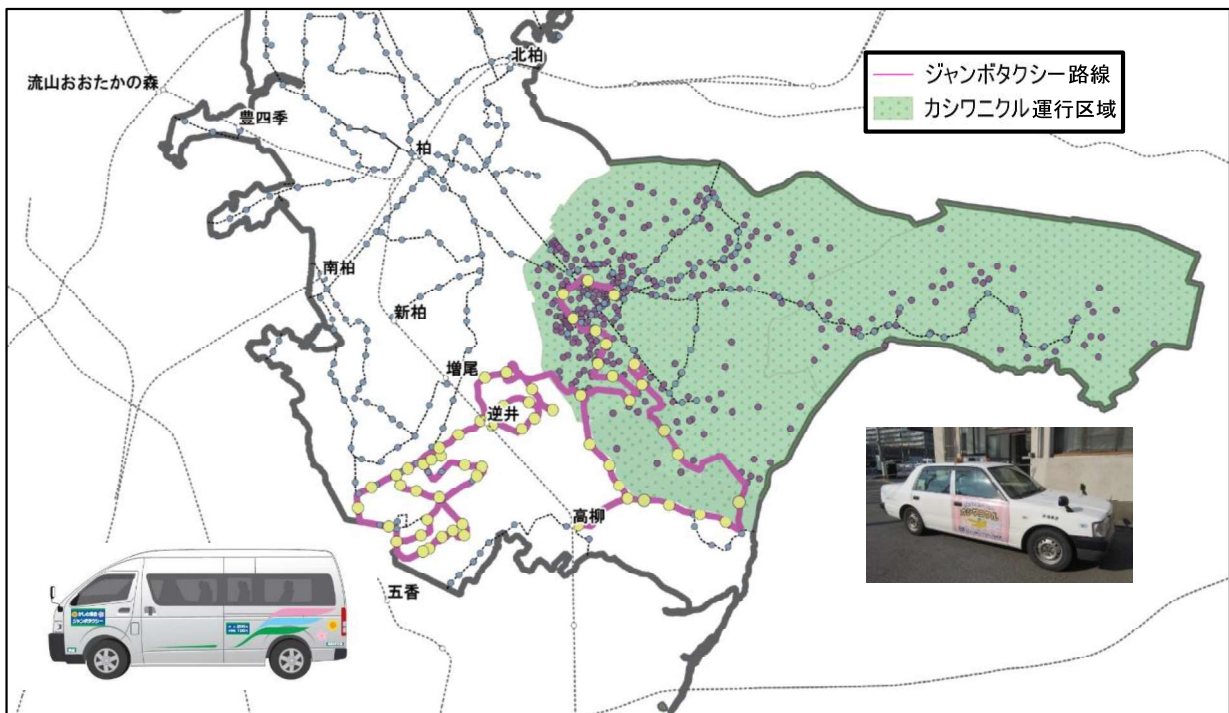
施策期間：長期

- 身近な公共交通機関として、地域のニーズや社会情勢、インフラの整備状況にあわせた利便性の高い路線ルートを構築し、過度に自動車に頼らずに生活できる多様性のある交通環境を整備します。
- バス路線を補完する「かしわ乗合ジャンボタクシー」や「カシワニクル」についても、利用者のニーズを踏まえたルートやエリアの再編を実施します。

■バスネットワーク再編の概念図



■かしわ乗合ジャンボタクシー路線図・カシワニクル運行区域図



出典：柏市地域公共交通網形成計画(一部加工)(2019年)

方針 2-1 にぎわいのある都市拠点を演出する交通環境の実現

1章

2章

3章

4章

5章

実現化施策

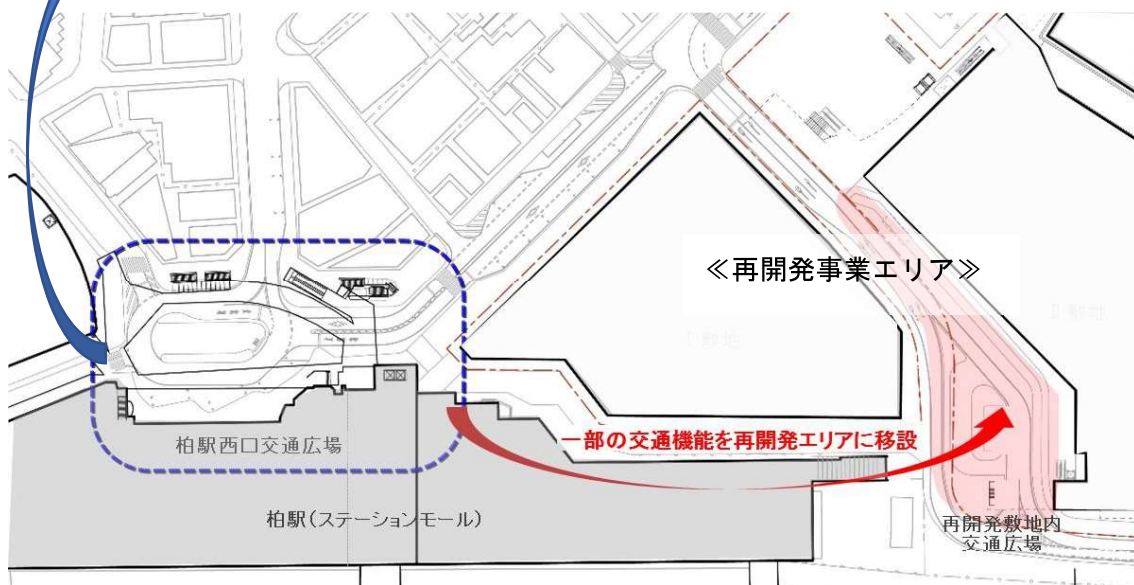
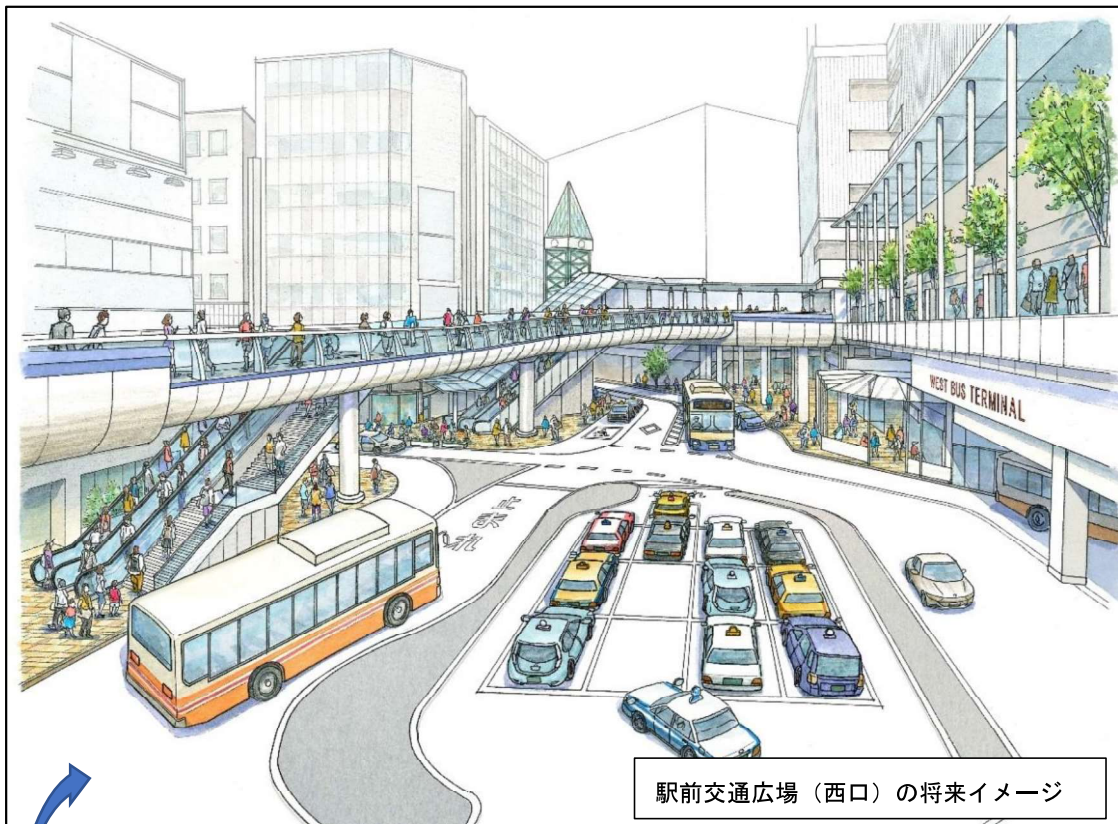
都市の拠点

(1) 中心市街地の更新に向けた交通環境整備 (柏駅)

① 柏駅の駅前交通広場 (西口)

施策期間：長期

- 柏駅西口の駅前交通広場は自動車と歩行者の交通動線が錯綜するとともに、公共交通の乗り場環境についても多くの課題を抱えています。このため、再開発事業に合わせた、西口駅前広場の再整備を検討します。



②ショットガン方式のタクシールール導入

施策期間：短期

- 西口、東口（休日のみ）に適用しているショットガン方式について、平日も含め検討します。駅前通りの交通環境の改善を図っていきます。

■タクシー待機の様子（サンサン通り）



■社会実験(2016年：市営駐車場を活用)



③道路利活用の推進

施策期間：長期

- 近年、社会実験でオープンカフェやマーケットを行うなど道路空間を歩行者優先の空間として活用する事例が増えています。
- 本市においても道路の利活用として、中心市街地への一般車両の流入抑制により、歩行者天国やダブルデッキにおけるカフェなどの取組みを今後も推進していきます。

■実施事例



都市の拠点

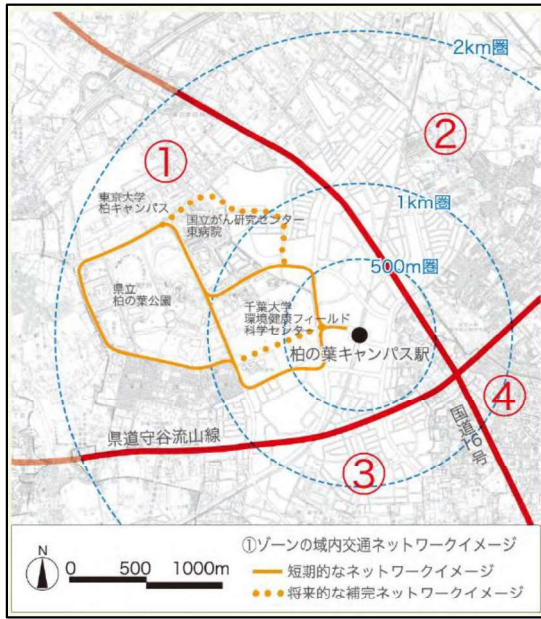
(2) 新市街地の展開に対応した交通環境の実現（柏の葉キャンパス駅）

①都市の発展に合わせた交通環境の構築

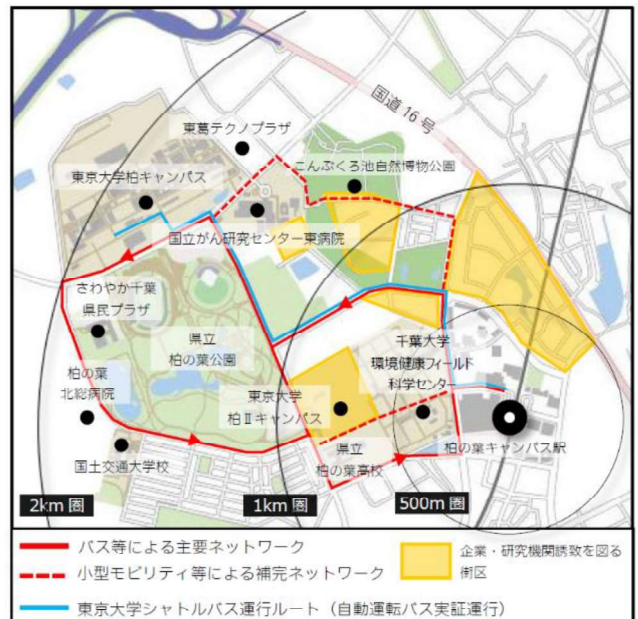
施策期間：長期

- 都市の広がりにあわせて、駅へ向かうための公共交通や、柏の葉キャンパス駅と主要施設を効果的に結ぶ新たなルートとなる交通手段を構築します。

■柏の葉キャンパスエリアの域内交通ネットワークのイメージ



出典：柏の葉国際キャンパスタウン構想(R1年)

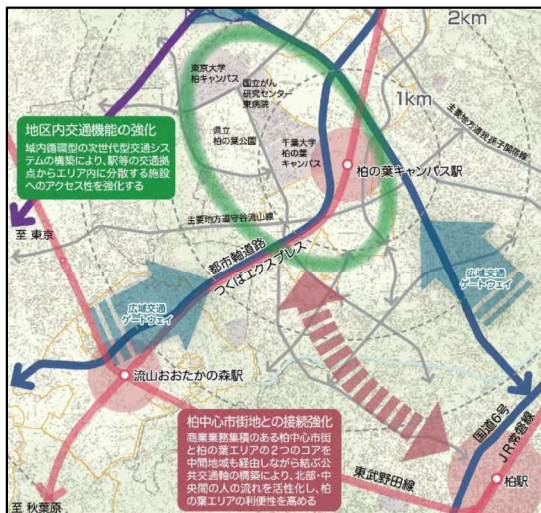


出典：柏の葉スマートシティ実行計画(R2年)

②柏の葉エリアと柏中心市街地を結ぶ公共交通の充実

施策期間：長期

- 道路整備と合わせた路線バスの再編・拡充の実施により、柏駅と柏の葉キャンパス駅を結ぶ公共交通軸の強化を図ります。



出典：柏の葉国際キャンパスタウン構想(R1年)

- 人々の暮らしや健康、都市にかかわる様々なデータを活用したまちづくりを目指すため、公・民・学が連携して、柏の葉キャンパスにおけるスマートシティの実現に向けた取組みを更に推進していきます。
- 2019年5月には、「Society5.0」の実現に向けて国土交通省が進めるスマートシティモデル事業の先行モデルプロジェクトに選定され、スマートシティの実現に向け「柏の葉スマートシティ実行計画」を策定しました。

■スマートシティ実現に向けた取組み

柏の葉スマートシティ実行計画（柏市）

「公・民・学連携」+「データ駆動」による地域運営を通じ、駅を中心とするスマート・コンパクトシティとして「進化し続けるまち」を目指す。

目標 世帯別人口、事業所数、住民満足度の増加
 [モビリティ] 公共交通利用者数増加、駅周辺の歩行者量増加 等
 [エネルギー] CO2削減量、省エネルギー量の増加 等
 [ホスピタリティ] 施設回遊率の増加、道路維持管理コスト削減 等
 [ウェルネス] 健康数値が改善した人の割合、病院内待ち時間 等
※今後、目標数値の設定を検討

取組概要 TRY the Future -進化し続けるまち-

モビリティ
 駅を中心とする地域内移動の利便性向上
 ・ 自動運転バスの導入
 ・ 駅周辺交通の可視化・モニタリング

エネルギー
 脱炭素社会に向けた環境にやさしい暮らし
 ・ AEMSクラウド化と需要予測の精度向上
 ・ 太陽光発電の保守管理プラットフォーム

パブリックスペース
 人を呼び込み、暮らしを支える都市空間形成
 ・ AIカメラ・センサーによるモニタリング・データ活用
 ・ センシングとAI解析による予防保全型維持管理

ウェルネス
 あらゆる世代が健康で生き生きと暮らせるまち
 ・ 個人向け健康サービス（柏の葉バスポート）
 ・ 病院内の人流把握による患者サービス向上

体制 柏市、三井不動産、UDCK、UDCKタウンマネジメントを中心とした体制
 テーマプラットフォーム（民間型テーマプラットフォーム） 三井不動産、凸版印刷、日本ユニシス、日立製作所（公共型テーマプラットフォーム） 柏市、日本電気(NEC)
 モビリティ 柏市、三井不動産、UDCK、アイ・エス・エー・エー、柏ITS推進協議会、首都圏新都市鉄道(TX)、長大、東京大学社「リアル・イノベーション」連携研究機構、パシフィックコンサルタンツ
 エネルギー 三井不動産、UDCK、日建設計グループ、日建設計総合研究所、日立製作所、ヒラノ・エンジニア、各施設管理者、住宅管理組合
 パブリックスペース 柏市、三井不動産、UDCK、UDCKタウンマネジメント、奥村組、川崎地産、富士交通、道路データサービス、関係機関、カブ投資会社
 ウェルネス 柏市、三井不動産、UDCK、国立がん研究センター東病院、産業技術総合研究所、日立製作所、nemuli、サービス、東京大学高齢社会総合研究機構

将来像 駅を中心とするスマート・コンパクトシティ
 ・ 駅周辺エリアに集まるデータの収集と活用
 ・ サイバー空間が支えるコンパクトな生活圏の形成
 ・ 「公・民・学連携」+「データ駆動」による地域運営
 ・ 駅を中心とするコンパクトシティのモデル

スケジュール
 2021年度実装 自動運転バス 駅周辺交通可視化 AEMS高度化 AIモニタリング 柏の葉バスポート
 2022年度実装 予防保全型維持管理

出典：柏市ホームページ

2019年度実装 地域内循環バスを見据えた自動運転バスの導入
 バス路線の充実化を図る上で社会的な課題となっている運転手不足を解決し、地域内を循環する自動運転バスを実現するため、駅と大学を結ぶ路線で自動運転バスの長期継続実証運行を実施しています。

2021年度実装予定 データを活用した交通サービス提供に向けた駅周辺交通のモニタリング
 新たなバス路線やシェアリングサービスなど、まちの成長とともに高まる需要に対応可能な様々な交通サービスの展開に向けて、自動車の走行履歴をモニタリングします。

自動ステアリング
 自動アクセル・ブレーキ
 自動ウィンカー
 通信アンテナ
 前方カメラ
 レーダー

走行履歴データ
 路側機を通過時にデータの収集
 再生・停止ボタン
 時間経過に合わせて点群が動く

走行履歴点群データ
 ● 10km/h未満
 ● 20km/h未満
 ● 40km/h未満
 ● 60km/h未満
 ● 60km/h以上

出典：柏の葉スマートシティ実行計画(R2年)

方針 2-2 拠点の移動の連続性を強化する交通結節点機能の形成

都市の 拠点

(1) 駅前広場の整備

施策期間：長期

- 北柏駅では、土地区画整理事業により北口駅前広場の整備を進めるほか、南口・北口・駅舎を結ぶ自由通路の整備や、バス停留所の適正配置などにより、歩行者の円滑な移動や効率的なバス運行を図っていきます。
- 高柳駅は、令和2年より東武アーバンパークラインの急行運転の停車駅となっており、利用者の増加が見込まれます。また、計画中である東口駅前広場の整備に伴い、バス乗入れを検討し、沼南支所周辺地域までの交流交通軸の強化を図っていきます。
- 豊四季駅は、北口駅前広場が整備されていないため、まちづくりの計画とあわせて橋上駅舎の整備も検討していきます。
- 柏たなか駅では、周辺の人口増加にあわせて駅へのアクセス性・利便性向上に向けたエスカレーターを設置を検討していきます。

■北柏駅北口 駅前広場



■高柳駅東口 駅前広場



※イメージパースは、今後の設計や協議により変更される場合があります。

都市の拠点

(2) 拠点における交通モード間の円滑化を推進

① 駅前広場の待合環境整備 (ベンチ、シェルター)

施策期間：長期

- 待合環境の快適性を高めるため、乗車人員の多いバス停を中心に、ベンチ、シェルター、バス接近表示案内などの設備について、バス事業者や道路管理者と連携し整備を促進していきます。

■ バス待合環境

(シェルター)

(近接表示案内)

(ベンチ)



② 案内表示の整備と乗り継ぎ情報の提供

施策期間：長期

- バスの行き先により、乗り場案内やバス停案内板を見分けやすいものとし、乗換交通のピクトグラムを活用するなど、住民はもちろん、観光客や外国人、障害者など誰もが利用しやすく直感的に分かりやすい環境の構築を図っていきます。
- 円滑な乗り継ぎができるよう、事業者と連携して、ICTを活用した乗り継ぎ情報の提供を推進していきます。

■ 乗り継ぎ案内 (東京都事例)

都営地下鉄(3駅)の改札口付近に、都バスの停留所や運行情報等を案内するデジタルサイネージを設置



出典：東京都ホームページ

■ 柏の葉エリア独自のピクトグラム



出典：柏の葉地域公共サイン整備方針 (H30年)

方針 2-3 誰もが移動しやすいバリアフリー環境の実現

都市の 拠点

(1) バリアフリー環境の整備

① 車両のバリアフリー化

施策期間：長期

- ・高齢者、障害者、妊産婦等さまざまな人が快適にバスを利用できるよう、ノンステップバス及びユニバーサルデザイン（UD）タクシーの導入を促進していきます。

■ ノンステップバス車両



出典：東武バスホームページ

■ ユニバーサルデザインタクシー



② 駅ホームのバリアフリー化

施策期間：長期

- ・駅ホームについては、ホームからの転落や接触事故を防止するため、ホームドアの設置を進めます。

■ ホームドア（東武アーバンパークライン柏駅）



■ スマートホームドア（設置例、京浜東北線蕨駅）



出典：JR 東日本

③ 駅周辺のバリアフリー

施策期間：長期

- ・ 柏市バリアフリー基本構想に基づき、重点整備地区における駅に至る主要な道路をバリアフリー経路に位置づけ、駅周辺の一体的なバリアフリー化（歩道の段差解消や誘導ブロックの設置等）を推進します。

■ 南柏駅前線（施工前）



■ 南柏駅前線（施工後）



④ バス停のバリアフリー化

施策期間：長期

- ・ 駅周辺や主要なバス停において、バスが歩道に正着しやすいバリアレス縁石の導入を検討していきます。

■ バリアレス縁石



■ 新潟市における施工前・施工後のバス停車状況

施工前



平均離隔 50 cm

施工後



平均離隔 10 cm

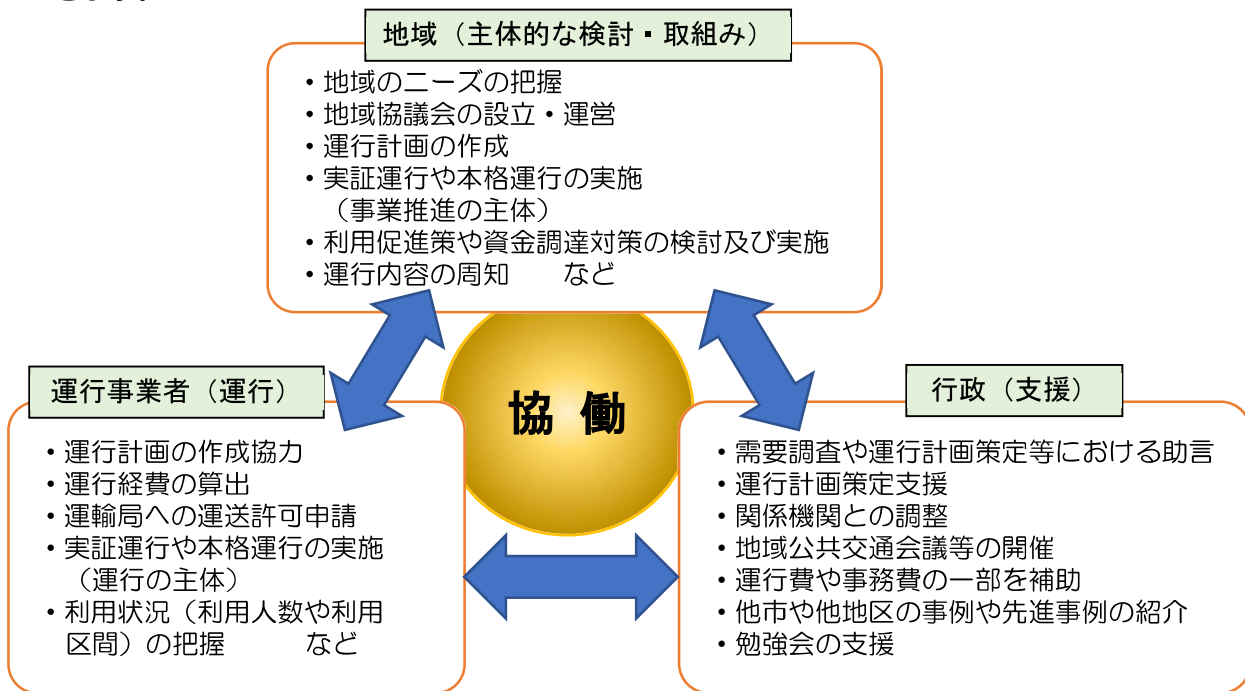
方針 3-1 地域の需要や個別のニーズに適応した交通サービスの提供

地域の生活

(1) 公共交通空白不便地域における新たな生活交通の確保

施策期間：長期

公共交通の利用が不便な地域を対象とした新たな生活交通の導入検討として、地域住民等で構成される地元検討組織を立ち上げ、市からの支援を受けながら、地元組織と協働で運行する取組みを検討していきます。



参考 (国交省資料)

地域が自らデザインする地域の交通 【地域公共交通活性化再生法・道路運送法】 国土交通省 → 参考資料p30-34

○地方公共団体による「**地域公共交通計画**」(マスタープラン)の作成

- 地方公共団体による**地域公共交通計画(マスタープラン)**の作成を**努力義務化**
⇒国が予算・ノウハウ面の支援を行うことで、地域における取組を更に促進 (作成経費を補助 ※予算関連)
- 従来の公共交通サービスに加え、**地域の多様な輸送資源(自家用有償旅客運送、福祉輸送、スクールバス等)も計画に位置付け**
⇒バス・タクシー等の公共交通機関をフル活用した上で、地域の移動ニーズにきめ細やかに対応 (情報基盤の整備・活用やキャッシュレス化の推進にも配慮)
- 定量的な目標(利用者数、収支等)の設定、毎年度の評価等
⇒データに基づくPDCAを強化

○地域における協議の促進

- 乗合バスの新規参入等の申請**があった場合、国が地方公共団体に**通知**
- 通知を受けた**地方公共団体**は、新規参入等で想定される地域公共交通利便増進実施計画への影響等も踏まえ、**地域の協議会で議論し、国に意見を提出**

地域公共交通網形成計画(H26改正)

(市町村又は都道府県(市町村と共同)が作成)
まちづくりと連携した地域公共交通ネットワークの形成の促進

地域公共交通計画(今回改正後)

(市町村又は都道府県(市町村と共同)が作成)
まちづくりと連携した地域公共交通ネットワークの形成

地域における輸送資源の総動員

メニューの充実やPDCAの強化により、持続可能な旅客運送サービスの提供の確保

地域旅客運送サービス

公共交通機関

鉄道、路線バス、旅客船、コミュニティバス、デマンド交通、乗用タクシー

自家用有償旅客運送

福祉輸送、スクールバス、病院・商業施設等の送迎サービスなど

地域公共交通網形成計画の策定状況

現行の目標(2020年度末500件)は達成

年度	件数
2015.3	30
2016.3	159
2017.3	273
2018.3	410
2019.3	500

22

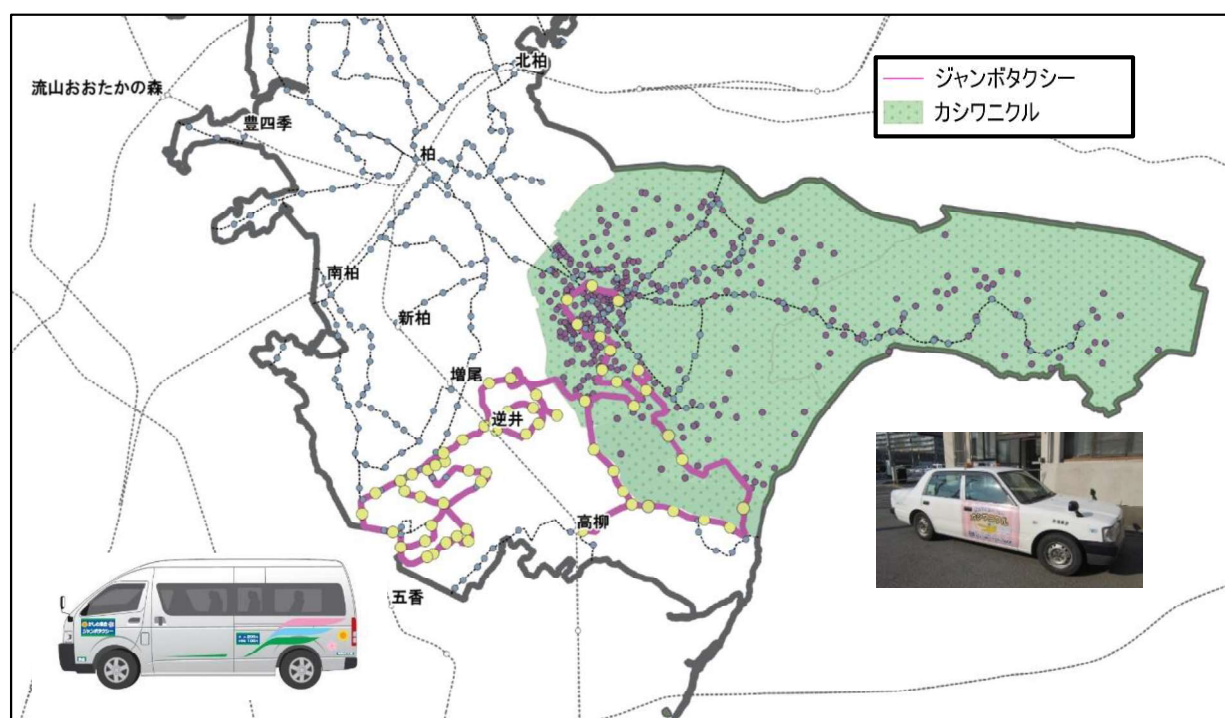
地域の生活

(2) 移動支援

施策期間：長期

- バス路線を補完する「かしわ乗合ジャンボタクシー」や「カシワニクル」について、利用者のニーズを踏まえたルートやエリアの再編を検討していきます。
- 持続可能な運送サービスの提供を確保するため、市が公共交通事業者などと連携して最新技術も活用しながら既存の公共交通機関をフル活用した上で、地域の輸送資源を総動員する取り組みを検討していきます。

■ かしわ乗合ジャンボタクシー・カシワニクル路線図



出典：柏市地域公共交通網形成計画（一部加工）（2019年）

方針3-2 地域の移動の連続性を強化する交通結節点機能の形成

地域の生活

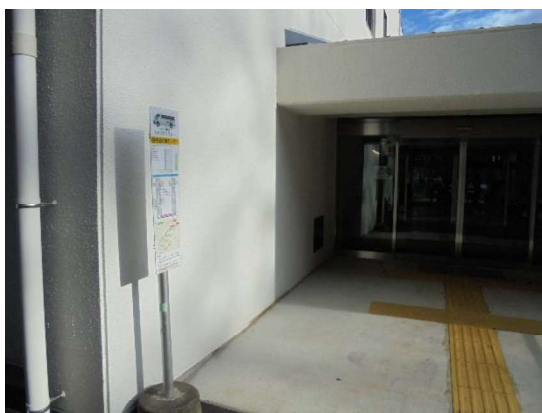
(1) 地域間移動の円滑化

- 地域間の移動円滑化を図るため、路線バス、カシワニクルやかしわ乗合ジャンボタクシーが乗入れする沼南庁舎バス乗り継ぎ場の待合環境改善やサイクルアンドバスライドなどの整備を推進していきます。

① 地域施設と連携した待合環境

施策期間：長期

■ 南部近隣センター前停留所



■ 施設の中で待機が可能



② サイクルアンドバスライドの促進

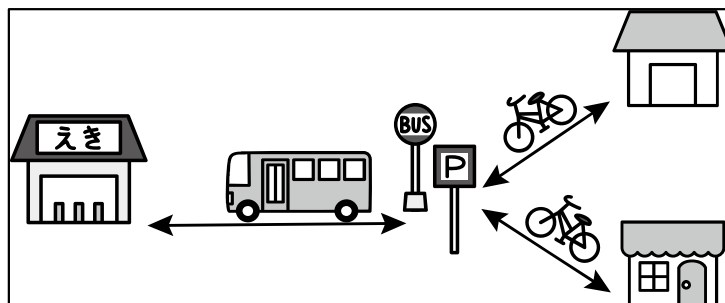
施策期間：長期

- 鉄道駅の他に「大津ヶ丘団地」や「中ノ橋」などのバス停周辺に駐輪場を整備しており、バス停まで自転車で来て、バスに乗り換えて鉄道駅まで向かうサイクルアンドバスライドを引き続き推進していきます。

■ 中ノ橋駐輪場



■ サイクルアンドバスライドのイメージ



方針 3-3 新技術の開発による持続可能な交通体系の実現

1章

2章

3章

4章

5章

実現化施策

地域の生活

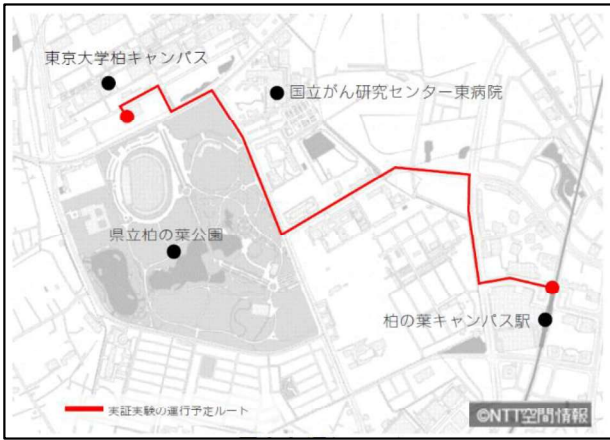
(1) 新技術の活用

①自動運転の実証実験と導入

施策期間：長期

- 自動運転は、交通事故の減少、公共交通のドライバー不足などの課題解決として期待されています。公民学連携による社会実験を柏の葉エリアでスタートさせており、次世代型の公共交通システム導入を進めていきます。

■実証実験の運行ルート



出典：柏の葉スマートシティ実行計画(R2年)

■実証実験の自動運転バス



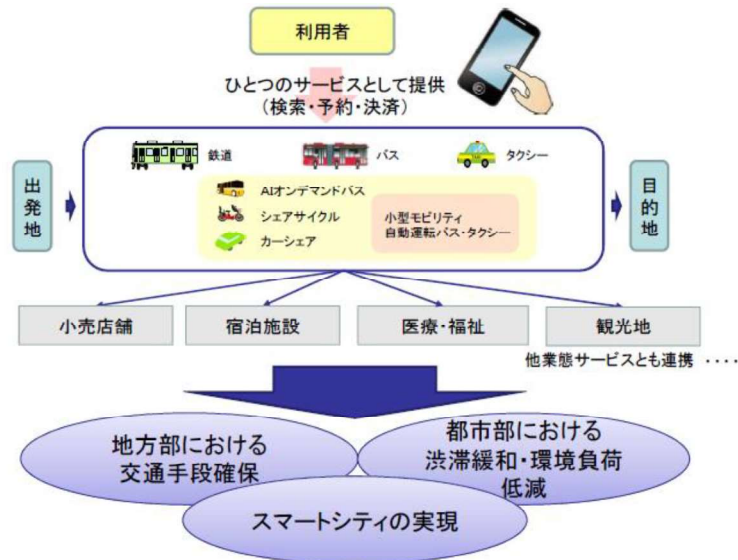
※現在は無人運転(レベル4、5)での運行ではなく、自動運転レベル2で、運転手がシステムを常に監視する必要があるため、運転手が乗車しています。

②MaaSの導入

施策期間：長期

- 複数の移動手段や目的地での活動を、先進技術を活用して、検索から予約、決済まで一つのサービスでシームレスに利用者に提供する「MaaS」(マース)の実現に向けた取組みを、関係機関と連携し推進していきます。

■MaaSのイメージ



- 自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な足となることが期待される1人～2人程度の車両です。地域での社会実装実現を目指して、試乗実験を行っていきます。
- ※超小型モビリティは、その大きさや定格出力に応じて、3つの区分（第一種原動機付自転車、軽自動車（型式指定車）、軽自動車（認定車））に分かれています。

■超小型モビリティ



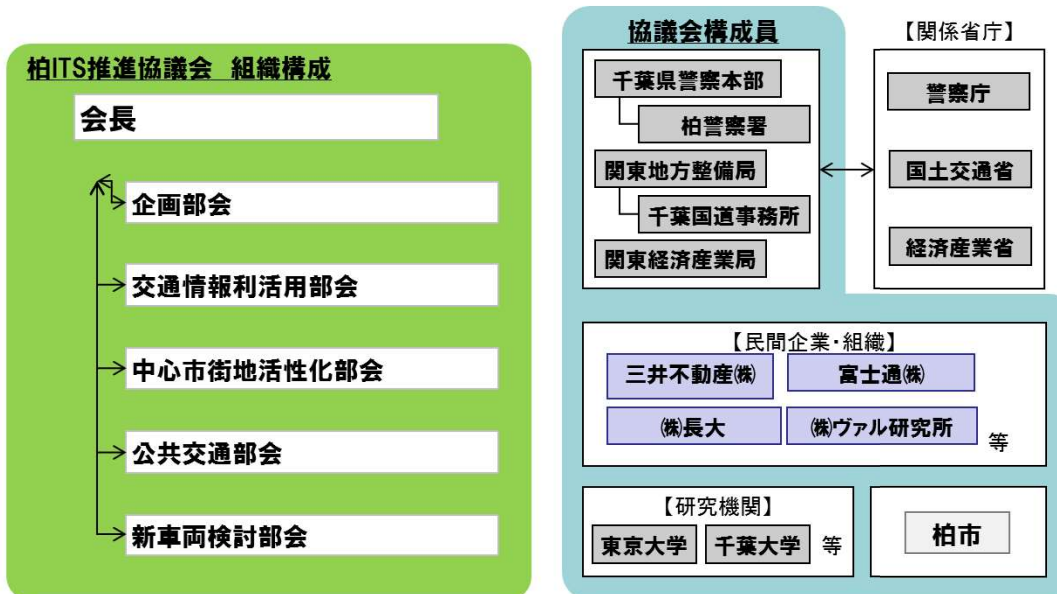
	第一種原動機付自転車（ミニカー）	軽自動車			普通自動車（小型自動車）
		超小型モビリティ		軽自動車	
		（型式指定車）	（認定車）		
最高速度	60km/h (道路交通法)	構造上 60km/h	個別の制限 付与	構造上の 制限なし	構造上の 制限なし
定格出力	0.6kW 以下	0.6kW 超	0.6kW～8.0kW	0.6kW 超	0.6kW 超
長さ	2.5m 以下	2.5m 以下	3.4m 以下	3.4m 以下	12m 以下 (4.7m 以下)
幅	1.3m 以下	1.3m 以下	1.48m 以下	1.48m 以下	2.5m 以下 (1.7m 以下)
高さ	2.0m 以下	2.0m 以下	2.0m 以下	2.0m 以下	3.8m 以下 (2.0m 以下)

出典：国土交通省資料

《柏ITS推進協議会》

- ITS(Intelligent Transport Systems：高度道路交通システム)を活用し、柏市において、「低炭素型交通都市」「次世代型環境都市」を実現するための各種研究開発の推進、及びそれらの事業化・実用化に資する活動を行うことを目的とします。
- 公（柏市）が抱える課題や地域ニーズと、民（民間企業）や学（大学等）のシーズをマッチングする機会の間となっています。

「公・民・学」の団体により構成



方針 4-1 環境負荷の低減に向けた交通の実現

1章

2章

3章

4章

5章

実現化施策

市民の意識

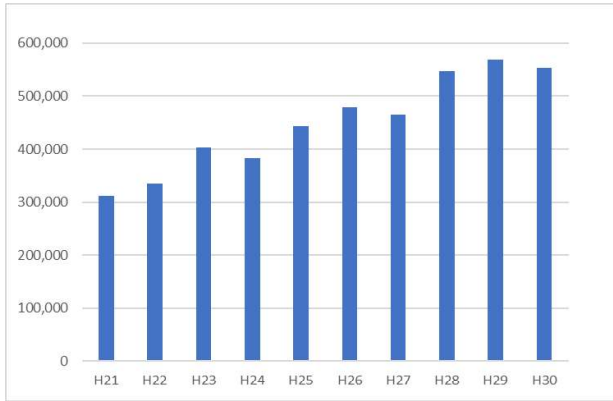
(1) 自転車の利用促進

施策期間：長期

① 電動アシスト自転車の利用促進

- 近年、電動アシスト自転車の割合が増加傾向にあります。今後高齢者の移動手段の一助となる可能性をふまえ、電動アシスト自転車の活用を検討していきます。

■ 電動アシスト自転車の生産台数の推移



出典：一般財団法人自転車産業振興協会 (H30年)

② レンタサイクルの利用促進

- 柏駅東口や手賀沼周辺では民間事業者と連携して、レンタサイクルを実施しています。都市内の回遊性の向上および地域交流や観光活性化に資する利活用を継続して実施していきます。

■ 北柏ふるさと公園サイクルステーション



市民の意識

(2) 低公害車の普及

施策期間：長期

① 低公害車の普及

- 化石燃料を主とする従来の自動車から先進的な低公害車への転換を促進し、エネルギー消費の削減を目指します。
- 移動の際にはIoT（インターネット・オブ・シングス）や安全装備を活用するなど、人にも地球にも優しいエコドライブに努めるよう啓発していきます。

■ 柏市役所充電ステーション



エコカーでCOOL CHOICE (=賢い選択)

燃費がよく、経済的なエコカーを選ぼう！

1990年代以降、乗用車の燃費標準値はハイペースに改善されています。

特に近年は自動車メーカーの燃費は日本車のエンジン車のおよそ2倍改善

となってきています。

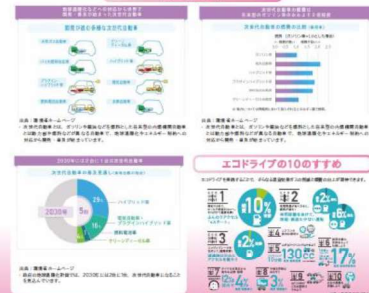
また、エコカー減税や補助金により、買入れのコストは思うほど

高くありません。

日々の通勤が楽になり、環境にもやさしく、快適なエコカーを買換えて、カーライフを楽しみましょう！



次世代自動車



エコドライブの10のすすめ



出典：柏市ホームページ

方針 4-2 安全で安心して移動できる交通環境の提供

市民の
意識

(1) 交通安全の推進

施策期間：長期

- 交通安全対策の一環として幼児保護者、小学生・小学生児童保護者、中学生、高齢者を対象として「交通安全教室」を開催していきます。
- 高齢者自身の自主的な交通安全活動を促進するとともに、地域で交通安全意識の高揚を図る取組みを進めていきます。

■交通安全活動（高齢者向け）



■交通安全教室（自転車利用者向け）



出典：第10次柏市交通安全計画

方針 4-3 公共交通の利用促進に向けた交通情報の発信

市民の
意識

(1) 公共交通の利用促進

① モビリティマネジメント

施策期間：長期

- 学校や地域などを対象に、過度に自動車に頼らず、公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段をかしく利用する方向への変化を促す取組みを行います。

■モビリティマネジメントの実施風景



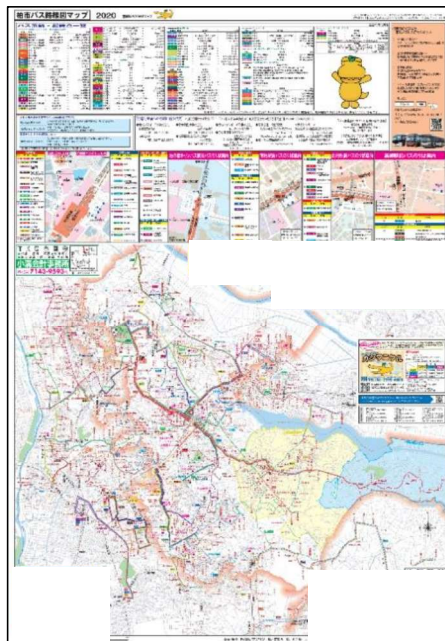
出典：柏市ホームページ

②交通に関する情報の提供

施策期間：長期

- バスマップの配布やホームページの充実などにより、交通に関心を寄せてもらい、公共交通の利用促進や、協働で交通施策を推進するような意識付けを行います。

■柏市バス路線図マップ 2020



③商業施設と連携したサービスの導入

施策期間：長期

- 商業施設と連携し、帰りの路線バスきっぷの進呈、公共交通利用者へのポイントサービスなど、公共交通の利用に付加価値を付けた割引サービスや企画切符等を検討していきます。

■遠鉄バス「お帰りきっぷ」

- 遠鉄百貨店、遠鉄ストア、イオンモール、温泉施設等と連携し、買物金額等に応じて利用可能区間の「お帰りきっぷ(無料乗車券)」を発券しています。



■日東交通 お帰りきっぷ



■ 実施プログラム

1. 快適な移動をささえる

1-1 定時性・速達性の確保、災害に強い道路ネットワークの形成

基本施策区分	施策名	実施主体・関係者	実施時期			該当ページ	
			短期 ～2026 (R8)年	中期 ～2031 (R13)年	長期 ～2037 (R19)年		
(1)一般国道6号, 16号の渋滞緩和による交通の円滑化	1	千葉北西連絡道路の早期整備	国、千葉県 柏市 その他4市	→			P42
	2	都市軸道路 渡河部早期整備	国、千葉県、 茨城県、柏市	→			P43
	3	国道ライブカメラの増設検討	国、柏市 警察	→			
(2)都市計画道路および市内幹線道路の整備	4	3.4.38 北柏駅北口線(北柏駅北口土地区画整理事業区域内)	柏市	→			P45
	5	7.5.3 元町通り線	柏市	→	→		
	6	7.6.4 中通り線	柏市	→	→		
	7	7.6.2 南通り線	柏市	→	→		
	8	8.7.1 小柳町通り線	柏市	→	→		
	9	3.4.37 根戸花戸原線(北柏駅北口土地区画整理事業区域内)	柏市	→			
	10	3.4.6 豊四季宿連寺線	柏市	→			
	11	3.4.7 十余二花野井線(柏都市計画事業柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業区域内)	千葉県	→			
	12	3.4.9 葉山十余二線(柏都市計画事業柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業区域内)	千葉県 柏市	→			
	13	3.4.12 南柏逆井線	柏市	→	→		
	14	3.4.22 吉野沢高野台線	柏市	→			
	15	3.3.28 末広あけぼの線	柏市	→	→		
	16	3.3.44 高田若柴線(柏都市計画事業柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業区域内)	千葉県 柏市	→			
	17	3.4.52 高柳藤ヶ谷新田線	柏市	→			
	18	3.3.2 箕輪青葉台線	千葉県 柏市	→			
	19	3.2.40 十余二船戸線	千葉県 柏市	→	→		
	20	8.7.2 小青田線	柏市	→			
	21	3.4.39 北柏高野台線	柏市	→			
	22	主要地方道 船橋我孫子線	千葉県 柏市	→	→	→	
	23	都市計画道路の見直し	柏市	→	→	→	
	24	柏市都市計画道路等整備プログラムの見直し	柏市	→	→	→	
	25	手賀沼ふれあい道路の整備	柏市	→			
	26	稲荷神社前交差点(新富町付近)	柏市	→	→		

(3)交差点改良などによる交通の円滑化	27	リサイクルプラザ付近交差点	柏市	→			P45
	28	自転車ネットワーク路線の見直し	柏市	→			
(4)自転車通行環境の整備	29	自転車通行環境優先整備路線の選定・整備	柏市	→	→	→	P45
	30	自転車通行環境整備 葉山十倉二線	柏市	→			
	31	自転車通行環境整備 旧水戸街道	柏市	→			
	32	駐輪場の再編	柏市	→	→	→	P46
	33	市営駐輪場 改修工事	柏市	→	→	→	
	34	市営駐輪場 環境整備	柏市	→	→	→	
	35	自転車活用推進計画の策定	柏市	→			
	36	市営駐輪場の運営効率化	柏市 企業	→	→	→	
	37	民間駐輪施設の参入促進	柏市 企業	→	→	→	

1-2 都市や地域間の移動を円滑にする公共交通ネットワークの形成

基本施策区分	施策名	実施主体・関係者	実施時期			該当ページ
			短期 ～2026 (R8)年	中期 ～2031 (R13)年	長期 ～2037 (R19)年	
(1)広域的な輸送力の強化(公共交通)	38	都心へのアクセス向上	柏市 鉄道事業者	→	→	P47
	39	新幹線乗車駅へのアクセス向上	柏市 鉄道事業者	→	→	
	40	羽田空港, 成田空港へのアクセス向上	柏市 鉄道事業者 バス事業者	→	→	
	41	東京駅延伸(TX)	柏市 鉄道事業者	→	→	
	42	8両化及びホーム延長工事(TX)	柏市 鉄道事業者	→	→	
	43	地下鉄11号線の早期整備および延伸(東京メトロ)	柏市 鉄道事業者	→	→	
(2)地域状況に応じたバス路線の再構築	44	公共交通軸の強化	柏市 バス事業者	→	→	P48
	45	企業バス等との連携検討	柏市 バス事業者 企業	→	→	
	46	コミュニティ交通の運行形態の見直し	柏市 バス事業者	→	→	
	47	交流交通軸の強化	柏市 バス事業者 企業		→	
	48	フィーダー系統路線の見直し	柏市 バス事業者		→	
	49	周辺施設との連携	柏市 バス事業者 企業	→	→	

2. 都市の拠点をささえる

2-1 にぎわいのある都市拠点を演出する交通環境の実現

基本施策区分	施策名	実施主体・関係者	実施時期			該当ページ	
			短期 ～2026 (R8)年	中期 ～2031 (R13)年	長期 ～2037 (R19)年		
(1) 中心市街地の更新に向けた交通環境整備(柏駅)	50	柏駅西口駅前広場の検討・整備	柏市 バス事業者 タクシー事業者				P49
	51	柏駅東口駅前広場の検討・整備	柏市 バス事業者 タクシー事業者				P50
	52	サンサン通り通行環境整備	柏市				
	53	ショットガン方式のタクシープール導入	柏市 タクシー事業者				
	54	中心部への自動車流入抑制対策	柏市 企業				
	55	フリンジパーキングの整備	柏市 企業				
	56	市営駐車場 改修工事	柏市				
	57	道路空間の利活用	柏市 市民				
(2) 新市街地の展開に対応した交通環境の実現(柏の葉キャンパス駅)	58	柏の葉交通戦略との整合	柏市 大学 企業				P51 P52
	59	スマートシティ実行計画の推進	柏市 大学 企業				
	60	都市の発展にあわせた交通環境の構築	柏市 大学 企業				

2-2 拠点の移動の連続性を強化する交通結節点機能の形成

基本施策区分	施策名	実施主体・関係者	実施時期			該当ページ
			短期 ～2026 (R8)年	中期 ～2031 (R13)年	長期 ～2037 (R19)年	
(1)駅前広場の整備	61 高柳駅東口駅前広場の整備	柏市 バス事業者 タクシー事業者	→	→		P53
	62 北柏駅北口駅前広場の整備	柏市 バス事業者 タクシー事業者	→			
	63 豊四季駅北口広場, 橋上駅舎の整備検討	柏市 各事業者	→	→		
	64 柏たなか駅エスカレーターの整備	柏市 鉄道事業者	→			
(2)拠点における交通モードの円滑化を推進	65 駅前広場の待合環境整備(市内各駅)	柏市 バス事業者 タクシー事業者	→	→	→	P54
	66 北柏駅 自由通路整備	柏市 鉄道事業者	→			
	67 地域施設と連携した快適な待合環境の確保	柏市 バス事業者 企業	→	→	→	
	68 ICTを活用した情報案内の実施	柏市 バス事業者	→	→	→	
	69 サイクル&バスライドの促進	柏市 バス事業者	→	→	→	

2-3 誰もが移動しやすいバリアフリー環境の実現

基本施策区分	施策名	実施主体・関係者	実施時期			該当ページ
			短期 ～2026 (R8)年	中期 ～2031 (R13)年	長期 ～2037 (R19)年	
(1)バリアフリー環境の整備	70 柏駅 快速線ホームドア設置	柏市 鉄道事業者	→	→	→	P55
	71 ノンステップバスの導入促進	柏市 バス事業者	→	→	→	
	72 UD タクシーの導入促進	柏市 タクシー事業者	→	→	→	
	73 柏市バリアフリー道路特定事業計画に伴う整備(各重点整備地区)	柏市	→	→	→	P56
	74 柏市バリアフリー基本構想の改訂	柏市	→			
	75 柏市バリアフリー道路特定事業計画の改訂	柏市	→			

3. 地域の生活をささえる

3-1 地域の需要や個別のニーズに適応した交通サービスの提供

基本施策区分	施策名	実施主体・関係者	実施時期			該当ページ
			短期 ～2026 (R8)年	中期 ～2031 (R13)年	長期 ～2037 (R19)年	
(1)公共交通不便地域における新たな生活交通の確保 (2)移動支援	76 福祉有償運送	柏市 NPO 法人 社会福祉法人 一般社団法人	→			P57 P58
	77 お出かけ支援	柏市 タクシー事業者	→			

3-2 地域の移動の連続性を強化する交通結節点機能の形成

基本施策区分	施策名	実施主体・関係者	実施時期			該当ページ
			短期 ～2026 (R8)年	中期 ～2031 (R13)年	長期 ～2037 (R19)年	
(1)地域間移動の円滑化	78 地域施設と連携した快適な待合環境の確保	柏市 バス事業者 企業	→			P59
	79 サイクル&バスライドの促進	柏市 バス事業者	→			
	80 拠点形成と連動した転回広場の交通環境整備	柏市 バス事業者	→			

3-3 新技術の開発による持続可能な交通体系の実現

基本施策区分	施策名	実施主体・関係者	実施時期			該当ページ
			短期 ～2026 (R8)年	中期 ～2031 (R13)年	長期 ～2037 (R19)年	
(1)新技術の活用	81 自動運転バス実証実験, 実用化	柏市 大学 企業	→			P60
	82 ETC2.0 の活用	柏市 大学 企業	→			
	83 MaaS の導入	柏市 大学 企業	→			

4. 市民の意識がささえる

4-1 環境負荷の低減に向けた交通の実現

基本施策区分	施策名	実施主体・関係者	実施時期			該当ページ
			短期 ～2026 (R8)年	中期 ～2031 (R13)年	長期 ～2037 (R19)年	
(1)自転車の利用促進	84	電動アシスト自転車の利用促進	柏市			P62
	85	レンタサイクルの利用促進	柏市			
(2)低公害車の普及	86	エコカー・エコドライブの普及促進	柏市			

4-2 安全で安心して移動できる交通環境の提供

基本施策区分	施策名	実施主体・関係者	実施時期			該当ページ
			短期 ～2026 (R8)年	中期 ～2031 (R13)年	長期 ～2037 (R19)年	
(1)交通安全の推進	87	交通安全教室の実施	柏市警察			P63
	88	交通安全運動	柏市警察			
	89	交通安全に関する人材育成	柏市警察 市民			

4-3 公共交通の利用促進に向けた交通情報の発信

基本施策区分	施策名	実施主体・関係者	実施時期			該当ページ
			短期 ～2026 (R8)年	中期 ～2031 (R13)年	長期 ～2037 (R19)年	
(1)公共交通の利用促進	90	バス乗り方教室の実施	柏市 バス事業者			P63
	91	バスマップの作成	柏市 バス事業者			P64
	92	フレイル予防ポイントとの連携	柏市 企業			